



日本語としまむにの音の対応 たいおう



- 1 日本語の「オの段」は、しまむにの「ウの段」
- 2 日本語の「エの段」は、しまむにの「イの段」
- 3 日本語の語頭の「カ



しまむには琉球の言葉(琉球諸語)の仲間です。日本語と琉球諸語は、遠い昔に同じ祖先から分かれた言葉なので、基本的な単語の60%~70%が、同じ語源を持っています。そして、同じ語源を持つ単語同士には、規則的な音の対応があります。この「音の対応」が分かると、日本語からしまむにの単語を予想することができます。ここでは、日本語としまむにの「音の対応3大ルール」を紹介します。

ルール1 日本語のオ(o)の段は、しまむにのウ(u)の段

日本語のオ(o)の段は、しまむにのウ(u)の段になります。例えば、体の「腿(もも)」は、オの段をウの段に変えると「むむ」となるので、しまむにでは「むむ」と予想できます。

| 日本語 | しまむに |
|------------|----------|
| 腿(もも:momo) | むむ(mumu) |
| 戸(と:to) | とー(tuu) |
| 星(ほし:hosi) | ふし(husi) |

ルール2 日本語のエ(e)の段は、しまむにのイ(i)の段

日本語のエ(e)の段は、しまむにのイ(i)の段になります。例えば、「雨」は、エの段をイの段に変えると「あみ」となるので、しまむにでは「あみ」と予想できます。

| 日本語 | しまむに |
|-----------|---------|
| 目(め:me) | みー(mii) |
| 根(ね:ne) | にー(nii) |
| 雨(あめ:ame) | あみ(ami) |



ルール3

日本語の語頭の力(k)の行は、しまむにのハ(h)の行

日本語の語頭の力(k)の行は、しまむにのハ(h)の行になります。例えば、「鏡(かがみ)」は、語頭の力の行をハの行に変えると「はがみ」となるので、しまむにでは「はがみ」と予想できます。この力の行とハの行の対応は、たいおう琉球りゅうきゅうの言葉の中でも、おきのえらぶ沖永良部・よろん与論・おきなわ沖繩北部の方言だけが持っている特徴です。とくちょう

| 日本語 | しまむに |
|---------------|-------------|
| 木(き:ki) | ひー(hii) |
| 肩(かた:kata) | はた(hata) |
| 鏡(かがみ:kagami) | はがみ(hagami) |

練習問題

いろいろな体の部分の名前を、自分の集落ではなんというか聞いてみましょう。そして、日本語と音の対応がある単語を探してみましょう。

